

令和 7 年度実績資料

1. 実施内容及び実績

【1】セールスコール代行

●実施内容と結果

①セールスコール先

台湾現地旅行会社 3 社及び教育機関 1 校

- ・山富旅遊
- ・鳳凰旅行社
- ・五福旅遊
- ・台北市博嘉実験国民小学校（教育機関）

現地の旅行会社や教育機関へ郡山市を組み込んだツアー造成等の働きかけ・ヒアリングを実施。

結果

- ・旅行会社からの反応：「四季彩一力」や「華の湯」などの温泉旅館、「福島牛」、「いちご狩り」といった単体の観光素材が高評価を獲得。
- ・教育機関からの反応：単なる観光旅行ではなく、「防災教育」や「農家民宿」に根ざした学習プログラムに高い関心。
- ・課題：「開成山公園」などの主要スポットであっても台湾国内での認知度が低い点や、富裕層におけるLCC 主体の福島空港利用の敬遠、団体ツアーにおいては「1 時間以内で完結する体験」や宿泊予約の手配しやすさが求められていることが判明。

【2】受入支援策（歓迎）

空港や駅での出迎え用として、繁体字による歓迎用横断幕の制作を実施。

【3】ファムツアートリップの実施

●実施内容と結果

①台湾旅行関係者向けファムツアー

目的 台湾市場での郡山市の認知度向上、観光・体験コンテンツの深い理解の促進、各旅行会社によるツアー行程への組み込み、および参加者からのフィードバックを通じた今後の誘客戦略の改善。

日程: 2025 年 9 月 16 日（火）～9 月 19 日（金）の 3 泊 4 日。

招請者: 台湾の旅行会社関係者 2 名 (旅友友旅行社 日本線副理、および 喜鴻旅行社 (ベストツアー) 日本入境部)。

行程および視察内容

1 日目 (9/16): 成田空港着後、郡山市へ移動し横断幕での歓迎を受ける。開成山大神宮にて抜刀パフォーマンスを鑑賞・体験し、磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」に宿泊。

2 日目 (9/17): 布引高原 (コスモス見学) および逢瀬ワイナリーを視察。昼食 (牛豊) 後、開成柏屋で薄皮饅頭づくり体験、開成山公園 / ラッキー公園を視察。「ダイワロイネットホテル郡山駅前」に宿泊し、夕食は「炉端ばんざい」。

3 日目 (9/18): 日本きもの美術館でポーチ作り体験、緑水苑でピザ作り体験と昼食。午後から富久栄珈琲桑野店でブレンド珈琲体験、ヨークパーク郡山でショッピング、PIRONO BEER 視察を実施。夕食 (天ぷら佐久間) 後、同ホテルに宿泊。

4 日目 (9/19): 高柴デコ屋敷にて張り子の絵付け (ミニ猫) 体験、高屋敷稻荷神社を視察。昼食 (ARIGATO) 後、福島空港から台湾へ帰国。

参加者からの評価 (良かった点・ツアーに組み込みたい要素)

体験プログラム: 招請者 2 名とも最も印象的だったものとして開成山大神宮の「抜刀パフォーマンス」を挙げ、日本古来の武道文化への関心の高さが示された。また、日本きもの美術館のポーチ作りや高柴デコ屋敷の張り子作りは、簡単で手頃な価格であることから体験コンテンツとして組み込みやすいと高評価。

観光スポット: 開成山公園の「ラッキー公園」はピンク基調のデザインで SNS 映えし、ファミリーや若年層への訴求力が高いと評価された。高屋敷稻荷神社は連なる鳥居がフォトスポットとして好評なうえ、お守り等の種類が豊富で物販の満足度も高いとされた。

宿泊・食事: 「ホテル華の湯」の温泉やビュッフェ、「ダイワロイネットホテル郡山駅前」の利便性がともに「大変満足」と評価され、特にホテル華の湯の夕食は団体利用に適していると確認。

【4】現地訪問の実施

① 8 月台湾訪問

日程: 2025 年 8 月 26 日 (火) ~ 8 月 29 日 (金)

主な滞在地: 台北市内 (1~2 日目)、新竹市内 (3~4 日目)

訪問の背景・目的: 福島県による新竹での観光セミナー開催に合わせた効果的な PR (新規開拓) と、今年度の台北市政府教育局との MOU 締結に向けた大安高工の校長との具体的な協議のため。

参加職員

観光政策課職員 2 名

主な実施内容と商談結果

1. 旅行会社への訪問・ヒアリング（8月27日／台北市内）

喜鴻旅行社（ベストツアー）

9月に実施予定のFAMツアー（招請旅行）に向けて、関心のある観光スポットや団体利用可能なレストランについて意見交換とヒアリングを実施した。担当者からは、実際に郡山市を訪問・取材し、現地の魅力を直接把握して今後の商品造成に活かしたいという前向きな意向あり。

旅友友旅行社

インセンティブ旅行（企業向け報奨旅行）やゴルフツアーを得意とする同社に対しプロモーションを実施しました。自然や季節感を活かした地域コンテンツの開発や、団体受け入れが可能な観光・宿泊施設の情報提供が、今後の送客拡大のポイントであることを確認。

2. 教育機関への訪問・協議（8月27日／台北市内）

南港工業高校

以前来県したことのある校長へ挨拶訪問を実施し、猪苗代湖が環境学習などに活用できる場所であることなどを紹介しました。校長からは「今後さらに海外との教育交流を深めていきたい」という強い意向があった。

大安工業高校

台北市における国際教育交流の窓口校である同校を訪問し、11月に開催予定の「教育旅行セミナー」の実施について双方で合意。

郡山市とのMOU締結に向けた協力にも前向きな姿勢が示され、11月のセミナーでは「国際教育交流」を主軸に、観光資源も含めた総合的な紹介をしてほしいとの要望あり。

3. 福島県観光セミナーへの参加（8月28日／新竹市内）

概要：ハワードプラザ新竹で開催された福島県観光交流局主催のセミナーに、郡山市観光政策課から2名が代表として参加した。台湾側の現地旅行会社27社（計33名）が参加。

プロモーション内容：台湾市場における認知度とブランドイメージ向上を目的とし、郡山市の主要観光地、歴史文化、食文化、周辺体験資源についてプレゼンテーションを行う。

成果：独自の魅力ある観光ポテンシャルをアピールし、参加者から高い関心と注目を集めた。また、抽選会では地域の特色を活かした記念品（地元特産の甘酒）を贈呈し、さらなる好印象の獲得を図った。

②11月台湾訪問

目的: 今年度中の台北市政府教育局との MOU 締結に向けた直接訪問・協議、現地学校の視察、学校関係者向けの説明会実施、および ITF（台北国際旅行博）関連の商談会を通じた将来的な観光誘客の促進。

日程: 2025年11月5日（水）～11月8日（土）。

参加職員

郡山市長

教育委員会学校教育部長

秘書課長

観光政策課 2名

主な実施内容と結果

1. 台北市政府教育局への公式訪問（11月7日）

台北市教育局の副局長（鄧進權氏）らを公式訪問し、これまでの教育旅行やオンライン交流の実績を再確認。三者間（台北市政府教育局・郡山市・郡山市教育委員会）での「教育交流協力に関する覚書（MOU）」の締結について意見交換。

2. 教育機関への訪問・学校説明会（11月6日～7日）

大安工業高校の訪問（11月6日）: 翌日の説明会に向けた最終調整のため訪問。「なぜ郡山市なのか」を強調するプレゼン内容のすり合わせや、MOU 締結に向けた確認を行った。

学校説明会の開催（11月7日／大安高工にて）: 台湾の小・中・高校向けに郡山市の教育理念や「防災」、産総研（FREA）見学などの独自プログラムを提案。参加校のアンケート結果（回答11校）では、10校（約91%）が郡山市を教育旅行のスケジュールに「組み込みたい」と回答し、非常に高い関心を集めた。

個別相談会の実施（11月7日）: 説明会后、9校と個別に協議を実施。各校から「オンライン交流から始めたい」「農家民宿での受け入れは可能か」「日本の学校とのマッチング方法」など、実務的な要望や質問が寄せられた。

螢橋國小（小学校）の訪問（11月7日）: 獅子舞による熱烈な歓迎を受けた。校内視察を通じて台湾の教育水準の高さや国際交流への熱意を肌で感じ、今後の継続的な連携体制構築の重要性を確認した。

3. ITF（台北国際旅行博）商談会および視察（11月6日・8日）

ITF2025 商談会への参加（11月6日）：日本観光振興協会主催の商談会に参加し、台湾側の旅行会社145社等にプロモーションを行った。「四季彩一カ」などのラグジュアリー宿や、特別列車「SATONO」への注目度が高く、只見線や緑水苑などのフォトスポットを絡めたルート提案が有効であると認識された。

商談を通じて、大人数の団体を扱う旅行会社からは「大型バス対応のレストラン情報」や「成田・仙台空港からのアクセス情報」を重視する声が目立った。また、ハイキングやベジタリアン対応などの多様なニーズも浮き彫りになった。

ITF2025 会場視察（11月8日）：旅行博の会場を実際に巡り、福島県ブースのPR状況や他地域のプロモーションを視察。旅行者の生の声を聴き、台湾市場における最新の訪日旅行トレンドにふれる機会となった。

まとめと今後の展開

教育旅行の推進：今回の訪問で得た強い関心を背景に、小～中規模（20～30名程度）の旅行をターゲットとし、自然環境や文化体験を中心としたプログラム提案と、具体的な市内の交流先学校のマッチングが必要。

観光商品の造成：商談会を通じて台湾の旅行会社との関係深化が進んだ一方、実際のツアー造成には「大型団体向けインフラ（レストランや移動手段）」の情報整備と提供が不可欠であることが明確になった。

【5】台北市政府教育局及び関係者の招請

目的：台北市教育局との「教育交流協力に関する覚書（MOU）」の締結、および今後の教育旅行（修学旅行）実施に向けた郡山市内の教育・文化・観光資源の視察。

日程：2026年1月29日（木）～1月31日（土）

招請者

台北市政府教育局副局長：鄧 進權（デン シンケン）

台北国際教育旅行交流センター招集人：楊 益強（ヨウ イキョウ）

執行長執行秘書：賴 美芬（ライ ミフン）

主な実施内容と視察結果

1日目（1月29日）

日本きもの美術館：日本の伝統美が凝縮された着物や歴史的資料を鑑賞。

常磐ものの本格鮫体験（ホテル華の湯）：ガストロノミー・ツーリズムの一環として、マグロやヒラメなどの握り体験を実施。

2 日目（1 月 30 日）

産総研（FREA）：世界最先端の再生可能エネルギー技術を視察。次世代の修学旅行先としての活用に強い関心が寄せられた。

スペースパーク：宇宙飛行士の訓練を模した体験型展示などを巡り、台北の児童・生徒の好奇心を刺激する「理科教育コース」の有効性が確認される。

西田学園（交流先学校）：ICT を活用した小中一貫校の授業風景や施設を視察。

高柴デコ屋敷：展示物の見学

フルーツピークス 福島の美味しいフルーツを使ったケーキを楽しむ。

MOU 締結式と歓迎夕食会（1 月 30 日）

教育交流協力に関する覚書（MOU）の締結

郡山市役所にて、台北市政府教育局、郡山市、郡山市教育委員会の三者間で MOU を締結。市町村レベルで台北市教育局と直接提携した実績は全国初。

出席者（敬称略）

台北市政府教育局副局長：鄧 進權（デン シンケン）

台北国際教育旅行交流センター招集人：楊 益強（ヨウ イキョウ）

執行長執行秘書：賴 美芬（ライ ミフン）

郡山市長

副市長 2 名

教育委員会教育長

教育委員会学校教育部長

文化スポーツ観光部長

歓迎夕食会：郡山ビューホテルアネックスにて開催

まとめと今後の展望

台湾側からの評価：大安高工校長による報告でも、今回の視察は「文化・科学リテラシーの育成」や「学校運営の参考」として極めて有意義であったと高く評価された。

MOU 締結の成果: これにより、教員・学生の相互訪問やカリキュラム協力のための正式な枠組みが整った。単なる訪問に留まらず、両市の行政が深く関与した長期的な協力関係の象徴となった。

今後の期待: 今回の連携強化により、郡山市が教育旅行において台湾に選ばれる旅行先になるための基盤が構築された。